

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町から流入する汚水进行处理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 処理水量（日最大） 268,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 処理水量（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 処理水量（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 処理水量（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※処理水量（日最大）は平成31年4月1日現在

○事業の実施状況

平成30年度下半期の処理水量は72,154千m³で、前年度同期に比べ3,950千m³、5.2%の減少となりました。

なお、下半期の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

（単位 千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	50,317	8,530	18,775	2,629	80,251
下半期分	45,194	7,206	17,324	2,430	72,154
合計	95,511	15,736	36,099	5,059	152,405

○建設事業の状況

平成30年度下半期は、湖南中部浄化センターにおける水処理施設増設工事や、守山栗東雨水幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成31年2月定例会議において、国の補正予算を活用した防災・減災、国土強靱化に係る建設事業に要する経費を計上するほか、企業会計への移行に伴う琵琶湖流域下水道維持管理基金の廃止による収入を計上するなど、996,568千円の増額補正を行いました。

○平成30年度予算の執行状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの予算の執行状況は、収入が18,580,845千円に対し、支出が14,500,388千円、差引は4,080,457千円となっています。

付表 第11表 平成30年度予算執行状況(平成31年3月31日現在) 2 特別会計
→ 54ページ

○企業債の状況

平成31年3月31日現在の企業債の現在高は、50,729,568千円です。

(3) 令和元年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は4処理区あわせて156,205千m³の汚水を処理する予定としています。

また、各浄化センターにおいて、設備の改築更新工事、耐震補強工事、管渠の整備工事等を行うこととしています。

○令和元年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		22,510,500
	営業収益	8,697,284
	営業外収益	13,813,216
琵琶湖流域下水道事業費用		22,364,800
	営業費用	21,365,839
	営業外費用	961,742
	特別損失	37,219

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		9,134,400
	企業債	3,515,400
	出資金	289,808
	補助金	3,843,740
	負担金	1,485,452
資本的支出		11,888,200
	建設改良費	7,061,590
	企業債償還金	4,817,894
	他会計からの長期借入金償還金	8,716

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、引継金、当年度分損益勘定留保資金ならびに消費税および地方消費税資本的収支調整額で補填します。